



猪名川沿い田能遺跡&みやのまえ文化の郷の見学（記録）

- 1：日 時 2019年1月24日（木）9時40分 ～ 15時
- 2：集合場所 阪急宝塚線・岡町駅 集合
- 3：目的地 大石塚古墳、千里川堰堤（大阪空港着陸コース直下地点）、尼崎市立田能資料館、伊丹みやのまえ文化の郷（市立伊丹郷町館ほか）など
- 4：参加者 18名（ 浅野、伊藤、乾、大石、叶、小松、坂根、莊村、西井、秦、原、藤井、前野、杵三、山下、倭、山本、上條 ）

今回は豊中市から尼崎市へさらに伊丹市にまたがる地域の河川、史跡を散策した。

大石塚小石塚古墳

集合場所、岡町駅から歩いてすぐ住宅が途切れた先、しっかりした柵の中に前方後円墳が見える。立て看板によるとこの周辺に36個の古墳群があったとのこと。



千里川堰堤

千里川堰堤に向かう途中、道路脇の水路に原田井の立看板を見つける。この水路は15世紀半ばから利用されている農業用水路で猪名川を水源として伊丹、尼崎、豊中の9カ村に利用されていた。

勝部遺跡収蔵庫前を通過して千里川堰堤へ。

まもなく伊丹空港滑走路に着陸する航空機の真下に到着。南の地平線近く小さく見えた航空機がやがて轟音を立てて頭上2、30mを通過して滑走路へ。確かに迫力はある。



尼崎市立田能資料館

昭和40年、工業用水園田配水場の建設工事中に、大量の弥生土器が発見された。約1年間、発掘調査が行われ、住居跡や柱穴、溝、墓などの遺構が貴重な遺物とともに発見され、田能遺跡が弥生時代のほぼ全期間に及ぶ大集落跡であったことが確認された。

展示物、復元された住居などについて係員による説明を受けた。

資料館を後にして寒風の吹く猪名川土手を歩き、藻川との分岐の先にある神津大橋を渡り昼食の地、イオンモールに向かう。

有岡城（伊丹城）跡、伊丹郷町館

昼食後はJR伊丹駅に集合。ここから伊丹市文化財ボランティアの会ガイド 松田様、内橋様に有岡城、寺院、岡田家住宅の案内を乞う。

有岡城は数年前NHKの大河ドラマで黒田官兵衛が荒木村重に幽閉されたところとして有名に。

旧岡田家住宅は江戸時代、1674年に建てられた。当時の酒作りの道具を見学。伊丹の酒作りは最盛期に80軒以上に及んだ。その後、多くが輸送上の利点のある西宮、神戸などに移転したと。現在は2社に。



15時解散。（歩行距離：約6km）。

写真：坂根 記録：上條